

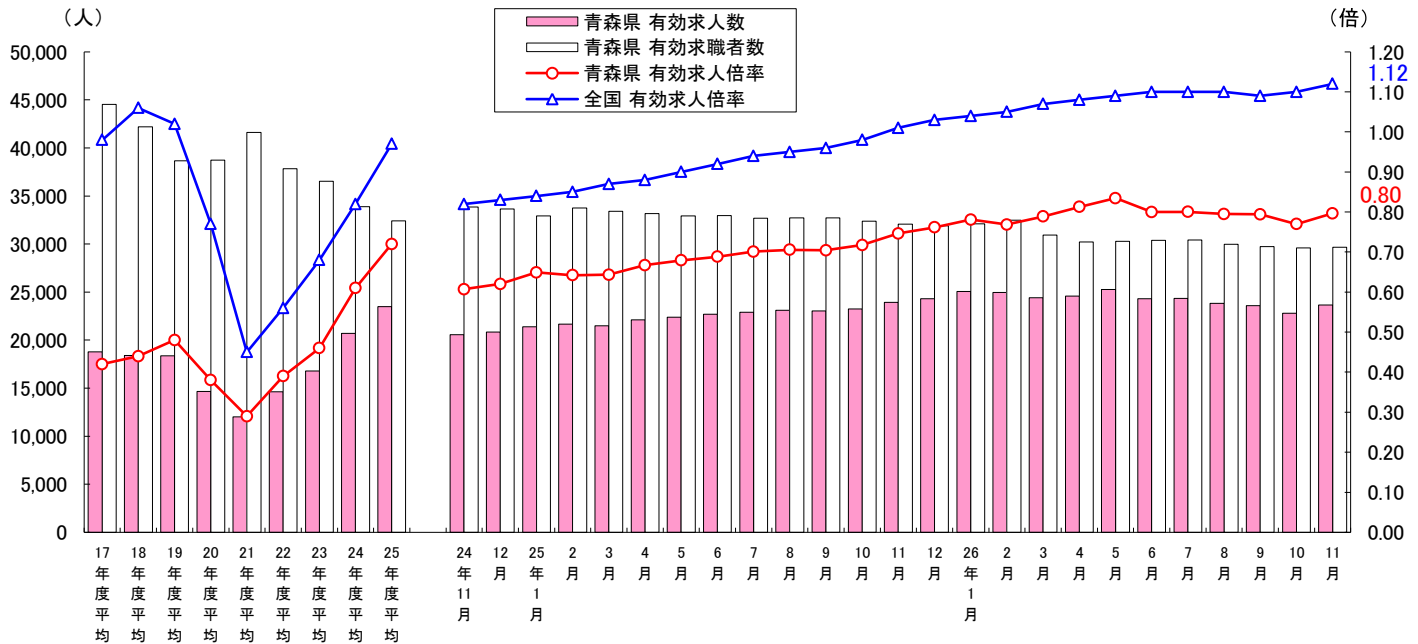
最近の雇用情勢について

(平成26年11月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

11月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ3.8%増加の23,644人、有効求職者数(同)は0.3%増加の29,676人で、有効求人倍率(同)は前月より0.03ポイント上昇の0.80倍となった。

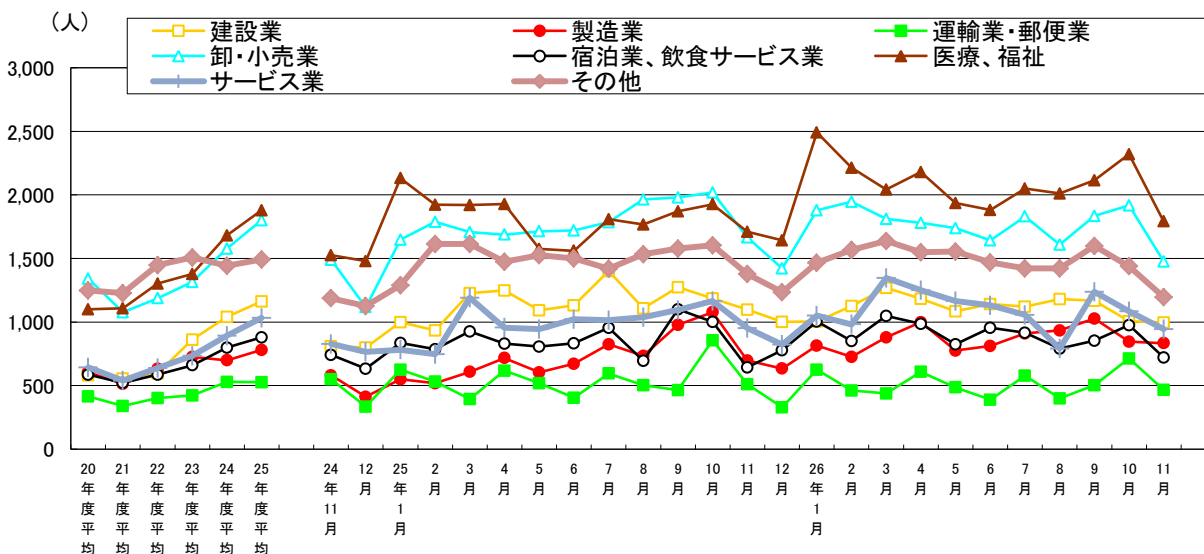


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

11月の新規求人(原数値)は前年同月比2.6%(229人)減少、前月比18.2%(1,877人)減少の8,429人。

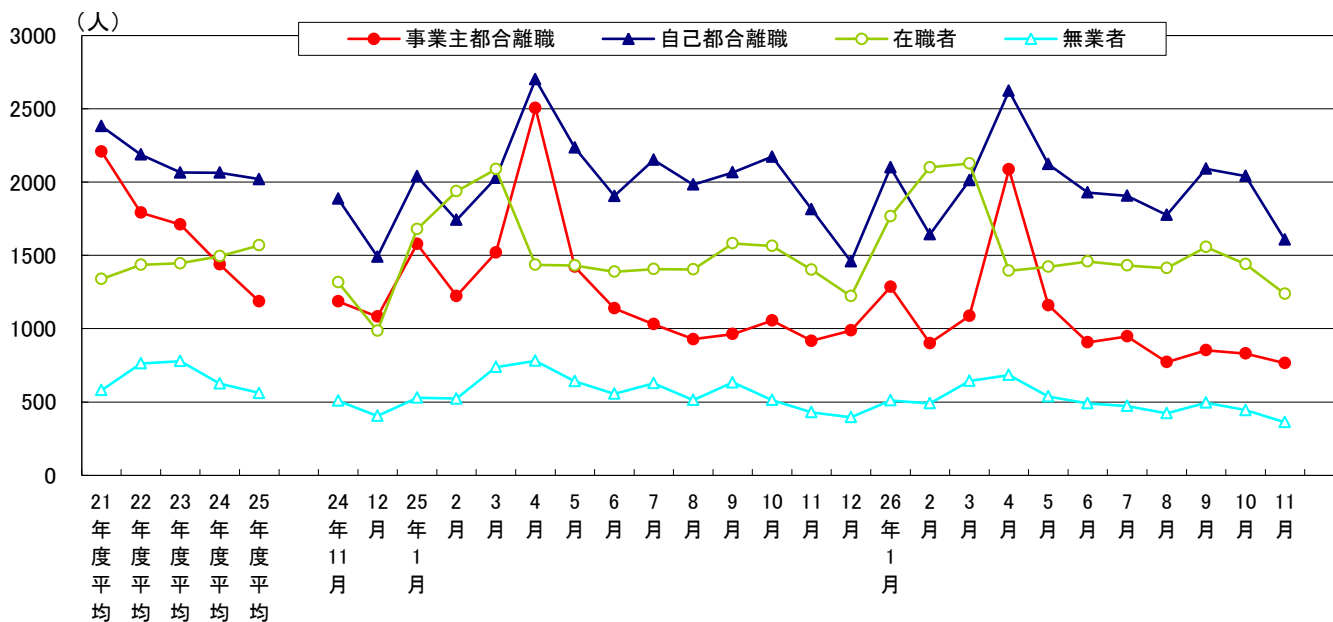
産業別に前年同月と比較すると、製造業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉等で増加し、建設業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、不動産業、物品賃貸業、複合サービス事業、公務・その他等では減少となった。製造業では、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、窯業・土石製品製造業等で増加し、金属製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業等では減少となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

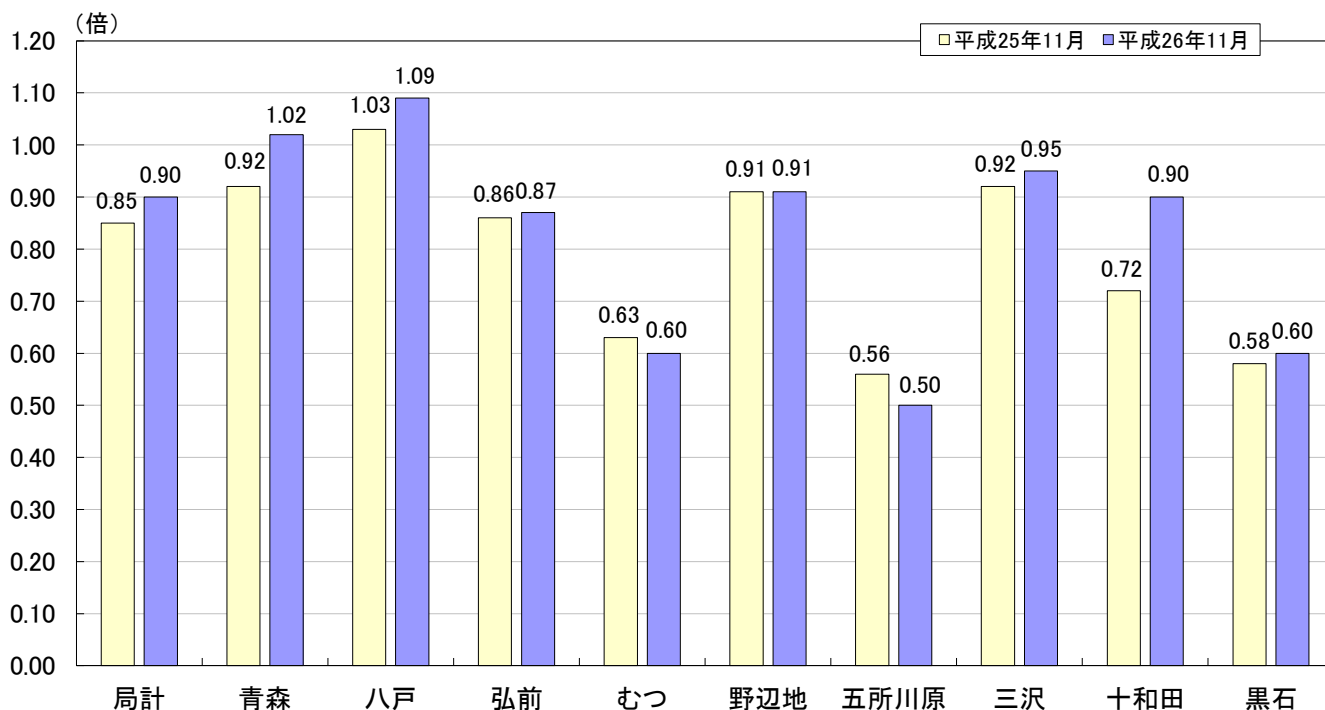
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

11月の新規求職者数は、前年同月比12.9% (604人)減少、前月比16.6% (810人)減少の4,066人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は11.8% (165人)減少し、離職者は13.0% (370人)の減少、
 無業者も 16.0% (69人)の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は16.7% (153人)の減少、自己都合も11.5% (208人)の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

11月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.90倍となり、前年同月を0.05ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

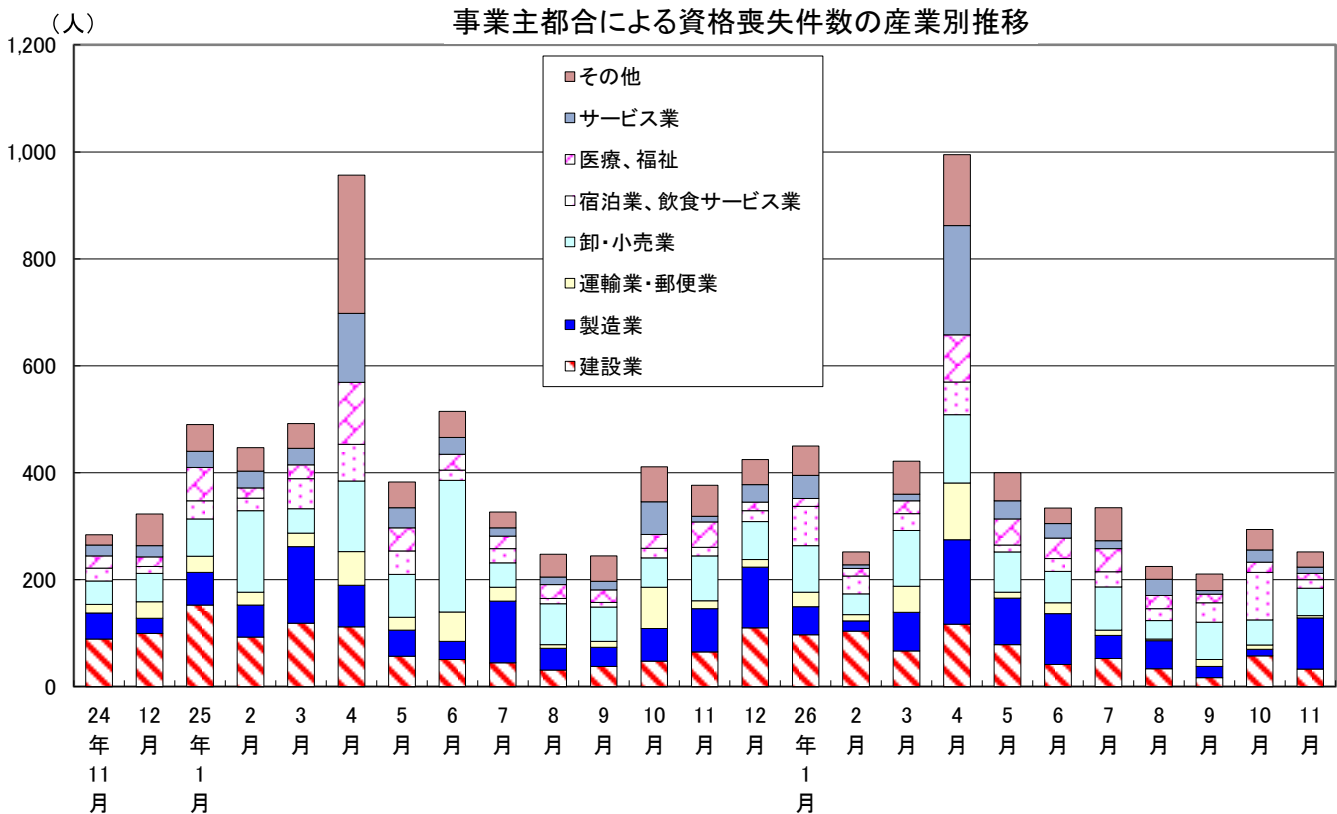
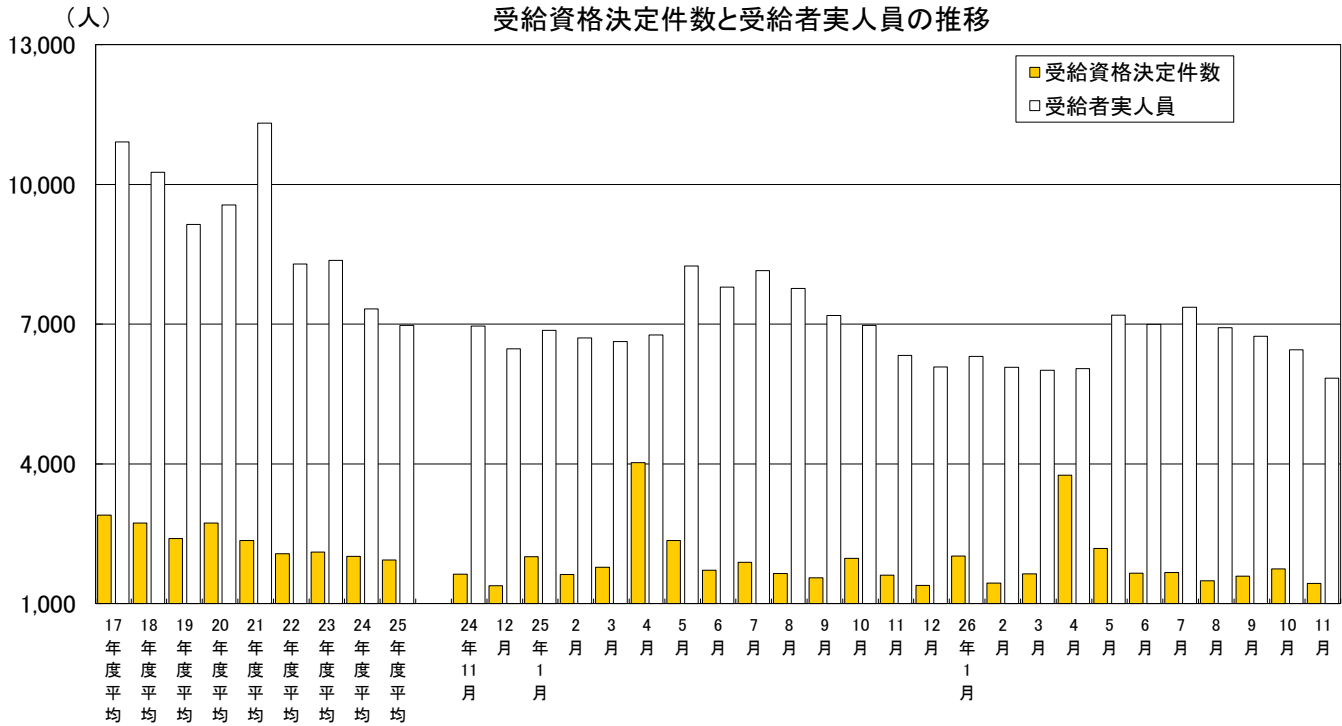


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	26,483	6,866	6,107	4,575	1,250	907	2,624	1,459	1,353	1,342
有効求人数	23,921	7,005	6,633	3,994	746	827	1,306	1,379	1,221	810

V 雇用保険の状況

11月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比7.8%（491人）減少、前月比では9.5%（612人）減少の5,837人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比11.3%（182件）減少、前月比では18.0%（314件）減少の1,431件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比33.2%（125人）減少、前月比14.3%（42人）減少の252人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。